

1. 2012年度事業報告

I 会員の異動状況

(2013年3月12日現在)

1. 会員の移動	前年度末	入会・就任	退会 (会費滞納による退会を含む)	物故者	現在数
(1) 正会員	25,203名	991名	479名	28名	25,687名
(2) 名誉会員	32名	3名	0名	0名	35名
(3) 特別会員	45名	4名	0名	1名	48名
(4) 国際名誉会員	22名	4名	0名	0名	26名
(5) 賛助会員(法人)	78名	0名	2名	—	76名

2. 役員・職員の異動	前年度末	就任	退任	物故者	現在数
(1) 理事	20名	30名	20名	0名	30名
(2) 監事	2名	2名	2名	0名	2名
(3) 幹事	19名	20名	19名	0名	20名
(4) 評議員	249名	0名	249名	0名	0名
(5) 社員	281名	13名	13名	0名	281名
(6) 事務局職員	17名	8名	8名	0名	17名

3. 国際名誉会員

Jong-Hoa Bae (Korea)	A. John Camm (UK)	Jay N. Cohn (USA)
Anthony N. DeMaria (USA)	Kim Fox (UK)	Valentin Fuster (USA)
Tsui-Lieh Hsu (Taiwan)	David T Kelly (Australia)	Sam-Soo Kim (Korea)
Spencer B. King, III (USA)	Peter Libby (USA)	Thomas F. Luscher (Switzerland)
William John McKenna (UK)	Steven E. Nissen (USA)	Ock-Kyu Park (KOREA)
John Ross Jr. (USA)	Patrick W. Serruys (Netherlands)	Shahryar A Sheikh (Pakistan)
Sidney C. Smith, Jr. (USA)	Karl Swedberg (Sweden)	A. Jamil Tajik (USA)
James T Willerson III (USA)	Anversa Piero (USA)	Braunwald Eugene (USA)
Waagstein Finn (Sweden)	Seung-Jung Park (Korea)	

4. 物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員	(該当無し)				
(2) 特別会員	村尾 誠				
(3) 一般会員	穴田真奈美	井城 延明	大野 忠良	岡野 信行	小川 弘道
	小野塚久夫	勝山 哲三	神川 正	貴田岡成憲	康 義治
	佐々木理彦	定 秀夫	佐藤 知之	芹澤 雄二	谷口 興一
	土屋 滋	永田まこと	林寺 忠	坂 義満	日向 正明
	福井 良治	保田 憲基	村山 晋	森 勝純	森田 綾乃
	和田 温教	渡辺 孝			

II 会議の事項

(1) 第76回社員総会	2012年4月20日	東京都・東京国際フォーラム
(2) 理事会	2012年6月15日	東京都・東京ステーションコンファレンス
	2012年10月19日	東京都・東京国際フォーラム
	2013年1月25日	東京都・東京国際フォーラム
	2013年3月14日	神奈川県・パシフィコ横浜
・臨時理事会	2012年7月29日	東京都・東京ステーションコンファレンス
(3) 総務委員会	2012年6月15日	東京都・東京ステーションコンファレンス
	2012年10月19日	東京都・東京国際フォーラム
	2013年1月25日	東京都・東京国際フォーラム
	2013年3月14日	神奈川県・パシフィコ横浜
・規約審議部会	2012年7月27日	京都府・(一社)日本循環器学会事務局

- | | | |
|---------------------|-------------|---------------------|
| (4) 財務委員会・監査会 | 2012年6月7日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年10月9日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| | 2013年1月15日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| | 2013年3月5日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| (5) 予算委員会 | 2012年12月18日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| (6) 編集委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年10月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年3月14日 | 神奈川県・パシフィコ横浜 |
| (7) 学術委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年10月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年3月14日 | 神奈川県・パシフィコ横浜 |
| ・予防部会 | 2013年3月4日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| ・成人先天性心疾患部会 | 2013年3月15日 | 神奈川県・パシフィコ横浜 |
| (8) 専門医制度委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年10月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年3月14日 | 神奈川県・パシフィコ横浜 |
| ・専門医編集委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年10月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| ・専門医実務委員会 | 2012年4月1日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| | 2012年7月1日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| | 2012年12月1日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年2月10日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| ・認定試験委員会(専門医試験合否判定) | 2012年9月15日 | 石川県・ANAクラウンホテル金沢 |
| (9) 教育研修委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年10月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年3月14日 | 神奈川県・パシフィコ横浜 |
| (10) 禁煙推進委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年10月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| (11) 健保対策委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年9月15日 | 石川県・石川県立音楽堂 |
| | 2012年10月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年3月14日 | 神奈川県・パシフィコ横浜 |
| (12) 心臓移植委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2012年10月19日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| | 2013年3月14日 | 神奈川県・パシフィコ横浜 |
| ・適応検討小委員会 | 2012年5月13日 | 東京都・東京医科歯科大学M&Dタワー |
| | 2012年5月15日 | 東京都・(一社)日本循環器学会事務局 |
| | 2012年9月14日 | 石川県・ホテル日航金沢 |
| (13) 医療倫理委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |
| ・医療倫理・利益相反合同委員会 | 2013年3月17日 | 神奈川県・パシフィコ横浜 |
| (14) 情報広報委員会 | 2012年6月15日 | 東京都・東京ステーションコンファレンス |
| | 2013年1月25日 | 東京都・東京国際フォーラム |

- (15) 国際交流委員会：2012年6月15日 東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年10月19日 東京都・東京国際フォーラム
2013年1月25日 東京都・東京国際フォーラム
2013年3月14日 神奈川県・パシフィコ横浜
- (16) 学術集会運営委員会：2012年6月15日 東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年10月19日 東京都・東京国際フォーラム
2013年1月25日 東京都・東京国際フォーラム
2013年3月14日 神奈川県・パシフィコ横浜
- (17) 学術集会プログラム委員会：2012年9月10日 東京都・東京国際フォーラム
2012年12月16日 東京都・東京コンファレンスセンター・品川
- (18) 用語委員会：2012年6月15日 東京都・東京ステーションコンファレンス
2013年3月14日 神奈川県・パシフィコ横浜
- (19) チーム医療委員会：2012年6月15日 東京都・東京ステーションコンファレンス
2013年1月25日 東京都・東京国際フォーラム
・コメディカル・プログラム部会：2012年5月18日 東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年11月27日 東京都・日本循環器学会東京事務所
- (20) 循環器救急医療委員会：2012年6月15日 東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年11月15日 東京都・日本循環器学会東京事務所
2013年1月25日 東京都・東京国際フォーラム
・AED検討委員会：(開催無し)
・蘇生教育小委員会：2012年10月29日 東京都・日本循環器学会東京事務所
2013年3月14日 神奈川県・パシフィコ横浜
・循環器救急医療制度小委員会：(開催無し)
・蘇生科学小委員会：2012年9月15日 石川県・石川県立音楽堂
2013年3月14日 神奈川県・パシフィコ横浜
- (21) 利益相反委員会：(開催無し)
・医療倫理・利益相反合同委員会 2013年3月17日 神奈川県・パシフィコ横浜
- (22) 医道委員会：2013年1月25日 東京都・東京国際フォーラム
- (23) 男女共同参画委員会：2012年6月15日 東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年10月19日 東京都・東京国際フォーラム
2013年1月25日 東京都・東京国際フォーラム
2013年3月14日 神奈川県・パシフィコ横浜
- (24) 医療安全委員会：(開催無し)
- (25) 国内交流委員会 2012年10月19日 東京都・東京国際フォーラム
・ICD-CRT研修制度協議会：2013年1月30日 東京都・日本循環器学会東京事務所
・ICD-CRT研修制度協議会実務者会議：2013年3月16日 神奈川県・パシフィコ横浜
- (26) 事務局あり方検討委員会 2012年6月15日 東京都・東京ステーションコンファレンス
2012年10月19日 東京都・東京国際フォーラム
2013年1月25日 東京都・東京国際フォーラム
2013年3月14日 神奈川県・パシフィコ横浜

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 日本循環器学会年次学術集会

第77回日本循環器学会学術集会(JCS2013)

会期：2013年3月15日(金)～3月17日(日)

会長：水野 杏一(日本医科大学医学部長)

会場：パシフィコ横浜(横浜市)

メインテーマ：

世界へ翔く日本の循環器病学

Advancing Cardiovascular Medicine:

International Harmony Towards Global Progress

- (1) 一般演題(口述, ポスター, Featured Research Session)
- (2) 美甘レクチャー: Robert Bolli (University of Louisville, USA)
- (3) 真下記念講演: 遠藤 章(東京農工大学/バイオファーム研究所)
- (4) 百一賀記念特別講演: 日野原 重明(聖路加国際病院)
- (5) 会長講演
- (6) 特別講演
- (7) International Honorary Members' Memorial Lecture
- (8) プレナリーセッション
- (9) シンポジウム
- (10) 会長特別企画
 - ・ International Imaging Conference
 - ・ The challenges of translation from discovery to therapy in 21st century
 - ・ 世界へ翔く循環器医学の発見・発明“メイド・イン・ジャパン”
 - ・ 症例から学ぶ
 - ・ 理想的な医療現場とは? - 各界からの提言 -
- (11) ジョイントシンポジウム(AHA, ACC, ESC, KSC)
- (12) ラウンドテーブルディスカッション
- (13) トピック
- (14) コントロバーシー
- (15) ミート・ザ・エキスパート
- (16) モーニングレクチャー
- (17) Late Breaking Clinical Trials
- (18) Late Breaking Cohort Studies
- (19) 第41回循環器教育セッション
- (20) 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- (21) 審査講演会
 - Young Investigator's Award審査講演
 - 国際留学生YIA審査講演
 - 第3回コメディカル賞審査講演会
- (22) ガイドラインに学ぶ
- (23) ガイドライン解説
- (24) Translational Research 振興事業報告会
- (25) 第9回心臓移植セミナー

- (26) 保険医療セミナー
- (27) 第3回海外留学生セミナー
- (28) 第12回医療安全・医療倫理に関する講演会
- (29) 第11回禁煙推進セミナー
- (30) 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
- (31) 第3回男女共同参画委員会セッション
- (32) Circulation Journal Award Session
- (33) コメディカルセッション
- (34) 市民公開講座
 - ・「知って得する生活習慣病対策のコツ」(会長校主催)
 - ・第11回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座
- (35) サテライトセミナー(ランチョンセミナー, ファイアサイドセミナー): 会期中3日間
- (36) 機器・書籍展示

2. プレレジストレーション

国内の参加者向けに、参加登録、教育セッション、ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションをオンライン上で行った。

3. 印刷物・製作物

第77回学術集会関連の印刷物・制作物として以下のものを製作した。

抄録CD, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育セッションテキスト(循環器専門医Vol.20 Supplement 2012), コメディカルプログラム抄録集, ピンバッジ, 英文パンフレット, ポスター, チラシ

4. My Abstracts

抄録CDに掲載されている演題および共催セミナー抄録を検索し、必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをオンライン上で行った。

5. トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給した。支給金額は中国, 香港, 台湾, 韓国は5万円, その他の国は10万円とした。

6. プレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「プレエントリーステム」を公開した。

7. 託児室

学術集会会期中に参加者に対して託児室を設置した。英語対応も可能とした。

8. 会場内各種サービス

携帯電話・スマートフォン無料充電コーナーを展示会場内に設置、混雑状況表示システムを会場内3箇所に設置し、実際の講演会場の中の映像を見せるよ

うにした。またiPadの無料貸し出しを事前予約制で実施した。

9. 学会賞

第38回日本心臓財団佐藤賞

選考委員長

水野 杏一(日本医科大学循環器・肝臓・老年総合病態)

受賞者

桑原 宏一郎(京都大学内分泌代謝内科)

心血管細胞の発現調節及び作用機構の解明に基づく心血管病新規治療標的の探索

第30回Young Investigator's Award

選考委員長

永井 良三(自治医科大学)

受賞者

最優秀賞

木岡 秀隆(大阪大学循環器内科学)

G0/G1 Switch Gene 2 Promotes Mitochondrial ATP Production and Protects Cardiomyocytes from the Energy Crisis under Hypoxia

優秀賞

田村 雄一(慶應義塾大学循環器内科)

Neural Crest-Derived Resident Cardiac Cells Contribute to the Restoration of Adrenergic Function of Transplanted Heart in Rodent

有馬 勇一郎(東京大学代謝生理化学)

Preotic Neural Crest Cells Contribute to Coronary Artery Smooth Muscle Involving Endothelin Signaling

野村 征太郎(千葉大学循環器内科学)

Oct4 Redirection by Wnt Signaling Regulates Cardiac Mesoderm Specification

堀尾 英治(熊本大学循環器内科学)

A Critical Role for the Vascular Endothelial Cell-Derived Angiopoietin-Like Protein ANGPTL2 in Endothelial Dysfunction and Atherosclerosis

第11回国際留学生Young Investigator's Award

選考委員長

室原 豊明(名古屋大学循環器内科学)

受賞者

最優秀賞

Alia Ellawindy(東北大学循環器内科学)

Spontaneous Development of Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy in Mice Overexpressing Dominant-Negative Rho-Kinase in Cardiovascular System

優秀賞

Jack H Wang(東京大学循環器内科)

The Omega-3 Fatty Acid, Eicosapentaenoic

Acid, Attenuates Abdominal Aortic Aneurysm Formation via Suppression of Matrix Destruction

Chang-ning Hao(名古屋大学循環器内科)

Therapeutic Angiogenesis by Cell

Transplantation:A Comparative Study of Adipose Derived Regenerative Cells versus Bone Marrow Mononuclear Cells

Haiying Jiang(名古屋大学老年科)

Mechanisms Underlying the Impairment of Ischemia-Induced Neovascularization in Cathepsin K-Deficient Mice:Impact on Nochl activation

第21回CPIS賞

選考委員長

山岸 正和(金沢大学臓器機能制御学・循環器内科)

受賞者

赤壁 佳樹(京都府立医科大学循環器内科)

ARIA Is a Novel Pharmacotherapeutic Target to Treat Metabolic Disorders

第8回心臓血管外科賞

選考委員長

四津 良平(慶應義塾大学心臓血管外科)

受賞者

小林 純子(岡山大学病院心臓血管外科)

Disease Modeling for Hypoplastic Left Heart Syndrome with Patient-Specific Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes

第8回小児循環器賞

選考委員長

市田 露子(富山大学小児科)

受賞者

千田 礼子(防衛医科大学校小児科)

Outcomes of Childhood Pulmonary Arterial Hypertension in BMPR2 and ALK1 Mutation Carriers

第7回循環器再生医学賞

選考委員長

小室 一成(大阪大学循環器内科学)

受賞者

・基礎研究部門

柴 祐司(信州大学循環器内科学)

Human ES-Cell-Derived Cardiomyocytes Electrically Couple and Suppress Arrhythmias in Injured Hearts

・臨床研究部門

樽井 俊(岡山大学病院心臓血管外科)

Transcoronary Infusion of Cardiac Progenitors in Infants with Hypoplastic Left Heart

Syndrome (TICAP): A Prospective Phase 1
Controlled Trial

第6回女性研究者奨励賞

選考委員長

小川 久雄(熊本大学循環器内科学)

受賞者

小林 成美(神戸大学循環器内科学)

Osteoblast-like Differentiation of Cultured
Human Coronary Artery Smooth Muscle Cells
by Bone Morphogenetic Protein Endothelial
Cell Precursor-derived Regulator (BMPER)

第2回循環器臨床研究奨励賞

選考委員長

代田 浩之(順天堂大学循環器内科学)

受賞者

・臨床研究部門

粟田 政樹(関西労災病院循環器内科)

血管内視鏡を用いた各種冠動脈インターベンシ
ョン治療後の血管治癒過程の検討

・症例報告部門

最優秀賞

掛札 雄基(筑波メディカルセンター病院循環器内科)

Isolated Cardiac Involvement of B-Cell Acute
Lymphoblastic Leukemia Mimicking Acute
Myocardial Infarction with Persistent Broad
ST-Segment Elevation

優秀賞

西山 信大(慶應義塾大学病院循環器内科)

Implantation of the Right Ventricular Lead of
an Implantable Cardioverter-Defibrillator
Complicated by Apical Myocardial Infarction

優秀賞

前田 真吾(東京医科歯科大学循環器内科)

Atrial Fibrillation Arising from the Left
Brachiocephalic Vein

第3回コメディカル賞

選考委員長

伊藤 浩(岡山大学循環器内科学)

受賞者

最優秀賞

櫻田 弘治(心臓血管研究所リハビリテーション室)

「心不全患者の生命予後と栄養関連指標(GNRI)
の関係について」

優秀賞

田中 佑樹(徳島県立中央病院検査技術科)

「心不全入院患者の再入院を予測する因子の検
討 ~CONUTを用いた栄養評価の重要性~」

高橋 正司(県立広島病院 放射線診断科)

「流体解析ソフトを用いたFFR CTおよび血流
解析の基礎検討」

奨励賞

宮園 真美(九州大学保健学部門)

「ICD患者のQOLと患者属性との関係性」

稲葉 武(筑波大学附属病院検査部)

「心室期外収縮(VPC)の3方向心磁図パター
ンの検討」

坪井 康典(神戸大学附属病院リハビリテーション部)

「肺動脈性肺高血圧症患者のボセンタン治療評
価に対する心肺運動負荷試験の有用性-投与開
始1週間後の運動耐容能評価の検討-」

Circulation Journal Awards for Volume 76, 2012

選考委員長 下川宏明(東北大学循環器内科学)

受賞者

Clinical Investigation部門

・最優秀賞

蘇我 孟群(駿河台日本大学病院救急救命センター)

Neurological Benefit of Therapeutic
Hypothermia Following Return of Spontaneous
Circulation for Out-of-Hospital Non-Shockable
Cardiac Arrest

(Circ J 2012; 76: 2579-2585)

・優秀賞

古道 一樹(慶應義塾大学小児科学)

Genetic Analysis of Essential Cardiac
Transcription Factors in 256 Patients With
Non-Syndromic Congenital Heart Defects

(Circ J 2012; 76: 1703-1711)

Experimental Investigation部門

・最優秀賞

藤井 裕士(鳥取大学再生医療学)

Electrophysiological Properties of Prion-
Positive Cardiac Progenitors Derived From
Murine Embryonic Stem Cells

(Circ J 2012; 76: 2875-2883)

・優秀賞

宮内 孝浩(鹿児島大学循環器・呼吸器・代謝内科学)

Wagon Therapy Upregulates Hsp90 and Leads
to Angiogenesis Through the Akt-Endothelial
Nitric Oxide Synthase Pathway in Mouse
Hindlimb Ischemia

(Circ J 2012; 76: 1712-1721)

Best Reviewers of the Year 2012

塚本 蔵 (大阪大学分子心血管医学)

浅沼 博司(京都府立医科大学先進循環器病治療学)

真田 昌爾(大阪大学循環器内科学)

山本 一博(鳥取大学病態情報内科学)

石井 秀樹(名古屋大学循環器内科)

藤木 明 (静岡赤十字病院循環器科)

海北 幸一(熊本大学循環器病態学)

Paul Schoenhagen (Cleveland Clinic)

古川 哲史(東京医科歯科大学学生体情報薬理)

庭野 慎一(北里大学循環器内科学)
丸山 徹 (九州大学健康科学センター)
甲斐 久史(久留米大学心臓・血管内科部門)
瀬尾 由広(筑波大学循環器内科)
草野 研吾(岡山大学循環器内科)
高橋 将文(自治医科大学^ハイイメージング^ク研究部)
高橋 尚彦(大分大学臨床検査・診断学講座)
安藤 真一(九州大学病院睡眠時無呼吸センター)
小菅 雅美(横浜市立大学附属市民総合医療センター内科)
筒井 正人(琉球大学薬理学)
埴田 浩 (福井大学循環器内科学)

日本心臓財団・日本循環器学会 2012年「心臓」賞
選考委員長 山口 徹(虎の門病院)

・最優秀賞

山本 昌良(筑波大学循環器内科)
新型インフルエンザ心筋炎に多発筋炎を併発した1例(心臓 2012; 44: 707-714)

・優秀賞

棗田 誠(手稲溪仁会病院循環器内科)
大動脈弁圧較差は硬化性大動脈弁狭窄症の重症度を測るうえで有用な指標か? (心臓 2012; 44: 1013-1019)

・優秀賞

松添 弘樹(加古川東市民病院循環器内科)
抗プロラクチン療法を施行した周産期心筋症の1例(心臓 2012; 44: 1406-1411)

10. 日本循環器学会地方学術集会

第107回 北海道地方会

会期: 2012年6月23日(土)
会場: 北海道立道民活動センター「かでの2.7」(札幌市)
会長: 長谷部 直幸(旭川医科大学循環・呼吸・神経病態内科学分野)

参加人数: 286

発表演題: 40

第108回 北海道地方会

会期: 2012年11月24日(土)
会場: 北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長: 筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学)
参加人数: 272
発表演題: 47

第154回 東北地方会

会期: 2012年6月2日(土)
会場: 岩手医科大学附属循環器医療センター(盛岡市)
会長: 伊藤 宏(秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学)
参加人数: 267
発表演題: 63

第155回 東北地方会

会期: 2012年12月8日(土)
会場: 仙台国際センター(仙台市)
会長: 久保田 功(山形大学循環・呼吸・腎臓内科学)
参加人数: 281
発表演題: 79

第224回 関東甲信越地方会

会期: 2012年6月30日(土)
会場: 日本大学会館(千代田区)
会長: 久代 登志男(日本大学医学部付属総合健診センター)

参加人数: 964

発表演題: 111

第225回 関東甲信越地方会

会期: 2012年9月29日(土)
会場: 東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長: 丹羽 明博(平塚共済病院循環器科)

参加人数: 941

発表演題: 111

第226回 関東甲信越地方会

会期: 2012年12月1日(土)
会場: 東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長: 高沢 謙二(東京医科大学八王子医療センター循環器内科)

参加人数: 未定

発表演題: 未定

第227回 関東甲信越地方会

会期: 2013年2月9日(土)
会場: 東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長: 天野 篤(順天堂大学心臓血管外科)

参加人数: 未定

発表演題: 未定

第139回 東海地方会

会期: 2012年7月7日(土)
会場: アクトシティ浜松(浜松市)
会長: 椎谷 紀彦(浜松医科大学第一外科)
参加人数: 387
発表演題: 117

第124回 北陸地方会

会期: 2012年7月8日(日)
会場: 富山国際会議場(富山市)
会長: 白田 和生(富山県立中央病院内科)
参加人数: 267
発表演題: 75

第140回東海・第125回北陸合同地方会

会期: 2012年10月20日(土)~21日(日)

会場：ウィルあいち(愛知県女性総合センター)(名古屋市)
会長：室原 豊明(名古屋大学循環器内科学)
参加人数：827
発表演題：219

第113回 近畿地方会

会期：2012年6月16日(土)
会場：大阪国際会議場(大阪市)
会長：宮崎 俊一(近畿大学医学部循環器内科)
参加人数：1267
発表演題：263

第114回 近畿地方会

会期：2012年12月15日(土)
会場：大阪国際会議場(大阪市)
会長：小室 一成(大阪大学循環器内科学)
参加人数：1291
発表演題：286

第100回 中国・四国合同地方会

会期：2012年6月22日(金)～2012年6月23日(土)
会場：広島国際会議場(広島市)
会長：木原 康樹(広島大学循環器内科学)
参加人数：831
発表演題：302

第101回 中国地方会

会期：2012年12月8日(土)
会場：ニューウェルシティ出雲・出雲市民会館(出雲市)
会長：織田 禎二(鳥根大学循環器・呼吸器外科)
参加人数：273
発表演題：119

第101回 四国地方会

会期：2012年12月8日(土)
会場：松山市総合コミュニティセンター(松山市)
会長：風谷 幸男(愛媛県立中央病院循環器病センター)
参加人数：313
発表演題：110

第112回 九州地方会

会期：2012年6月30日(土)
会場：沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)
会長：大屋 祐輔(琉球大学循環器・腎臓・神経内科学)
参加人数：521
発表演題：184

第113回 九州地方会

会期：2012年12月8日(土)
会場：くまもと県民交流館パレア(熊本市)
会長：光山 勝慶(熊本大学医学系生体機能薬理学)
参加人数：573

発表演題：167

②学会学術誌, 学術論文集, その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal 刊行

- (1) Circ. J. Vol.76 2012年は12冊2,964頁, 平均発行部数約17,700部, 原著投稿論文345件2,897頁(98%), その他67頁(2%)を掲載。
- (2) 2012年の投稿論文は, 受付1,635件(内有効論文1597件), 内2013年3月5日現在までの採用は248件, 不採用1014件, 採択率は19.7%であった。査読にはEditorial Boardを含め940名(12号掲載)がその任務にあたった。
- (3) 2013年の投稿論文は, 2013年3月5日現在までの受付320件(内有効論文315件)であった。
- (4) 2011年のImpact factorは, 3.766であった。
- (5) Supplement I (抄録CD) は年次学術集会において採択された英文抄録を掲載した。
- (6) AHA開催期間中に, Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し, 出席者38名で第3回国際編集会議を開催した。

2. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について, 会員及び関係学会からの意見を踏まえ検討した。また, WHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業は, 関係分野の学会と協力して作業グループを組織し, 実務作業を行った。

3. 会告刊行

会告2012 No.1～No.6を発行した。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」を運営した。

5. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信した。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する2,584施設に調査依頼を行い, Webを用いて調査を行った。調査対象期間は2011年1月～12月の1年間で, 1,676施設(64.9%)から回答が寄せられた。

2. 学術研究班

1. 災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン
(日本循環器学会・日本高血圧学会・日本心臓病学会との3学会合同)
(班長:下川 宏明, 荻尾 七臣, 代田 浩之)

2. (冠動脈・不整脈を除く)カテーテルインターベンションのガイドライン
(班長：中西 敏雄)
3. 心房細動治療(薬物)ガイドライン(改訂版)
(班長：井上 博)
4. 川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(改訂版)
(班長：小川 俊一)
5. 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(改訂版)
(班長：許 俊鋭)
6. ST上昇型急性心筋梗塞の診療に関するガイドライン(改訂版)
(班長：木村 一雄)
7. ペースメーカー、ICD、CRTを受けた患者の社会復帰・就学・就労に関するガイドライン(改訂版)
(班長：奥村 謙)
8. 冠攣縮性狭心症の診断と治療に関するガイドライン(改訂版)
(班長：小川 久雄)
9. 脳血管障害、腎機能障害、末梢血管障害を合併した心疾患の管理に関するガイドライン(改訂版)
(班長：伊藤 貞嘉)
10. 血管機能の非侵襲的評価法に関するガイドライン
(班長：山科 章)
11. 重症心不全に対する植込み型補助人工心臓治療ガイドライン
(班長：許 俊鋭)
12. 慢性肺動脈血拴塞栓症に対するballoon pulmonary angioplastyの適応と実施法に関するワーキンググループ
(主査：伊藤 浩)

3. ガイドライン作成

2010-2011年度活動の新規2班と2011年度活動の改訂版9班のガイドラインについて、オリジナル版とダイジェスト版を作成し、『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2012』として発行しホームページ上にも公開した。また、第77回学術集会時に「ガイドライン解説」および「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した。

4. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち次の9班を英訳化してホームページに掲載した。

- 「冠動脈疾患におけるインターベンション治療の適応ガイドライン」
- 「心筋梗塞二次予防に関するガイドライン」
- 「不整脈の非薬物治療ガイドライン」
- 「臨床心臓電気生理検査に関するガイドライン」
- 「急性心不全治療ガイドライン」

- 「大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン」
- 「虚血性心疾患に対するバイパスグラフトと手術術式の選択ガイドライン」
- 「循環器診療における放射線被ばくに関するガイドライン」
- 「腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン」

5. ガイドラインダイジェスト版ポケット版の作成
臨床現場での利便性を考慮したガイドラインダイジェスト版をポケットサイズにして作成し、第77回学術集会の期間中にセッション会場・日本循環器学会ブースで無料配布した。

6. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究やtranslational researchについて、我が国の先進医学研究に寄与することを目的に、以下2件の研究支援助成を行った。2010年度に採択した2件および2011年度に採択した2件についても研究支援助成を行った。

- ・不整脈疾患における先制医療としての遺伝子診断と機能解析の開発
研究代表者：堀江 稔(滋賀医科大学循環器内科)
- ・難治性大動脈炎症候群に対するトシリズマブの有効性を検討する多施設臨床試験
研究代表者：瀧原 圭子(大阪大学保健センター(兼)大阪大学循環器内科学)

7. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

- ・耐糖能異常症例における食後高血糖改善による心筋梗塞再発予防に関する研究
(ABC Study：主査 北風 政史)
- ・日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究
(JASS：主査 山本 一博)
- ・虚血性心疾患に対する外来型心臓リハビリテーションの有効性に関する多施設前向き登録研究
(J-REHAB：主査 後藤 葉一)
- ・周産期心筋症(産褥心筋症)の発症に関する登録研究
(PREACHER：主査 池田 智明)
- ・心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究-II
(EPO-AMI-II：主査 小室 一成)
- ・急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査
(NCVC-AMI：主査 小川 久雄)

8. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリは、2012年5月から本登録を開始した。

9. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に以下1件の留学支援助成を行った。

- ・多臓器連関から捉えた治療抵抗性高血圧の分子生物学的機序の解明及び新規治療法の開発
荒井 隆秀（慶應義塾大学循環器内科）

10. 国内交流事業

- ・日本心臓血管外科学会から、ロータブレータの施設基準の改定について、日本循環器学会と連名で要望書を提出したい旨依頼があったが、今回、日本循環器学会としては、共同提案者になることを見送ることとした。
- ・日本血栓止血学会、日本生理学会、日本呼吸器学会における、日本循環器学会とのジョイントシンポジウム開催申請を受諾した。

④国際交流事業

1. 国際交流事業

- ・海外学会へのブース出展ESC・AHAへブース出展を行った。
- ・海外学会との共同シンポジウムの開催
ESCおよびAHAと共同シンポジウムを開催した。
- ・国際名誉会員
3名の新規国際名誉会員の選定を行った。

2. 第76回学術集会コンgresレポートのホームページへの掲載

第76回学術集会における招請講演などのハイライトを学会の英文ホームページで報告した。また、海外学会(WCC, ESC, AHA)の日循ブースにてCD-R版を配布した。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 循環器専門医事業

- (1) 循環器専門医認定のための第23回循環器専門医試験を2012年8月26日、東京国際フォーラム(東京)梅田スカイビル(大阪)の2会場で実施した。認定者は445名(2013年4月1日認定)。
- (2) 2013年4月1日に循環器専門医資格を更新予定の循環器専門医1,772名の認定更新(2013年4月1日更新)が承認された。
- (3) 循環器専門医・専門医を目指す会員の臨床研修

のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った。新たに研修19施設、研修関連35施設を指定し、更新は研修383施設、研修関連118施設を指定した。

- (4) 『循環器専門医』刊行：専門医編集委員会からVol.20 No.2, Vol.21 No.1を出版した。Vol.20 No.2は特集「第76回日本循環器学会学術集会」、Vol.21 No.1は特集I「基礎科学の進歩」特集II「第76回日本循環器学会学術集会」

※(2)の更新者に関しては、現在審査中のため2013年3月31日現在となっていますことをご了承ください。

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第8回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの企画・開催

2012年7月15日(日)大阪千里ライフサイエンスセンターにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー、ディベート、グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に資するため「循環器研修ビジュアルシリーズ」「第40回循環器教育セッションDVD-ROM」の製作・販売を行った。

3. 学術集会DVDの製作・販売

第77回学術集会の講演内容を会期後に視聴研修していただくことを目的に、講演内容を収録したDVDを製作・販売していく。

4. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催した。

- (1)AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2)AHA ACLSプロバイダーコース
- (3)AHAハートセイバーAEDコース

受講者募集活性化のため、BLS受講対象者を原則として医療に従事している方、医学教育に係わっている方、医歯薬学生、看護学生などに拡大した。また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催した。

- (1)AHA コアインストラクターコース
- (2)AHA BLSインストラクターコース
- (3)AHA ACLSインストラクターコース

5. コメディカルセミナーの開催

循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、第2回～第4回のコメディカルセミナーを開催した。

- (1) 第2回コメディカルセミナー

日時：2012年7月21日(土)10:00-18:00

会場：東京医科歯科大学M&Dタワー大講堂(文京区)

テーマ：「読める心電図 専門家が教える明日から役立つ心電図A to Z」

(2) 第3回コメディカルセミナー

日時：2012年8月4日(土) 10:00-18:00

会場：大阪YMCA国際文化センター(大阪市)

テーマ：「読める心電図 専門家が教える明日から役立つ心電図A to Z」

(3) 第4回コメディカルセミナー

日時：2012年8月18日(土) 10:00-18:40

会場：東京コンファレンスセンター・品川(港区)

テーマ：「循環器臨床における各種の画像診断
ビギナーのための心エコーからCT・MRIまで」

6. 男女共同参画に関する事業

- (1) 第2回男女共同参画委員会セミナー「女性循環器医の仕事と育児支援：経験と希望」を2012年12月1日に関東甲信越地方会(東京ステーションコンファレンス)で開催した。
- (2) 現状を把握して、提言を行うべく女性循環器医の勤務環境改善のためのワーキンググループを立ち上げた。
- (3) 学術集会一般演題における女性座長を全体の1割程度となるよう要望書を提出し承認されたため、各支部に候補者の推薦を依頼し、第77回学術集会会長へ提出した。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植等に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する各学会・研究会とともに、小児心臓移植実施施設の審査・検討を行った。
- (2) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。
- (3) 18歳未満の症例および、18歳以上の先天性心疾患の症例に関する検討グループを新設し、委員を追加した。現在は大阪大学、国立循環器病研究センター、東京大学からの申請症例を検討するグループ、3施設以外の申請症例を検討するグループ(2グループ)、小児症例を検討するグループの計6グループで対応している。
- (4) 心臓移植適応検討の申請ルートについて、心臓移植実施施設以外からの申請の際は、心臓移植実施施設の承認を得てから申請するよう見直しを行った。それに伴い、レシピエントデータシートの変更を行った。
- (5) 心臓移植の適応について、新規申請、再申請の検討を行った。
- (6) 心肺同時移植の適応について、新規申請の検討を行った。
- (7) 1997年～2012年10月末までの適応検討症例につ

いて、追跡予後調査を実施した。

- (8) 学術集会会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、小児心臓移植の発展について心臓移植セミナーを行った。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを開催した。セミナーのテーマは「肺高血圧症」を取り上げた。

2. 学術集会プレスカンファレンス

第77回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、東京でプレスカンファレンスを開催した。

3. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の販売をおこなった。

4. 禁煙HPリニューアル

2002年作成HPを、デザイン、サイト構成を含め一新した。保険診療の導入や禁煙内服治療などの新たな情報、また学会員の禁煙意識調査や循環器学会研修施設・研修関連施設における禁煙化・禁煙治療実施についてのアンケート調査を行い、その結果を掲載した。

5. 日本循環器学会「新禁煙宣言」の作成

2002年作成の「禁煙宣言」から、新たに「新禁煙宣言」として内容を更新した。

6. 禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座

第77回学術集会期間中に、禁煙推進・心肺蘇生法に関する合同の市民公開講座を開催した。

7. 学会ホームページの改修

デザイン・サイト構成を含め一新した。学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載した。

8. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行った。

9. 医療安全に関する事業

委員会内規内の委員会業務内容に沿って、医師推薦依頼に対応した。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 一般社団法人への移行

2012年4月1日から一般社団法人へと移行された。

2. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の運用を行った。

3. 団体保険制度

本学会会員が有利な条件で加入出来るよう、勤務医師賠償責任保険及び総合補償保険について団体契約を結ぶ。

4. 事務局あり方検討委員会

本学会の国際性・信用力の強化、会員間または他学会との交流の活発化、業務上の効率化・利便性の向上、将来的な経済的メリットへの期待などの理由により、将来的な事務局の東京地区への移転を視野に、東京事務所を以下住所に開設、事務局職員の一部が移転し、2012年10月9日より業務を開始した。

住所：東京都千代田区内幸町1-1-1

帝国ホテルタワー18階

東京事務所の会議室は、既に、各種委員会等で活用されている。また、事務局運営上の問題点の改善のため、対応策の検討と実行を進めた。

5. 医道委員会

元会員の不正支出の問題につき、民事訴訟を提起し、裁判が進行している。

Circulation Journal Vol. 76刊行状況(編集委員会)

	論文数	頁数	その他頁数	頁数計
No. 1	29	260	0	260
2	30	262	0	262
3	30	248	0	248
4	31	275	1	276
5	30	242	0	242
6	30	250	0	250
7	30	266	0	266
8	30	247	1	248
9	30	234	0	234
10	25	209	1	210
11	25	216	0	216
12	25	188	64	252
計	345	2,897	67	2,964

『第77回学術集会抄録CD (Vol.77 Supplement I)』刊行状況(学術集会)

	抄録採択数	抄録掲載数
計	2,378	2,981

『循環器専門医』刊行状況(専門医制度委員会)

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol. 20 No.2	195	15	210
Vol. 21 No.1	168	18	186
計	363	33	396

『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2012』刊行状況(学術委員会)

	オリジナル版頁数	ダイジェスト版頁数	頁数計
2010-2011年度報告	248	51	299
計	248	51	299